

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予報第1号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病害虫発生予報第1号（4月）

【普通作物】

作物名	病害虫名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
麦類	赤かび病	-	並

【普通作物 - 麦類】

1 麦類の赤かび病

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

4月の気象予報では、平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 穂が病原菌に感染しやすい時期は開花期である。防除適期は小麦は出穂期後7～10日頃の開花期、大麦は出穂期後1～4日頃の穂揃い期である。防除適期を過ぎると防除効果が低下するので、防除適期を失しないように注意する。この時期に降雨や曇天が続く場合は、1週間後にもう一度防除を行う。

イ 農業総合試験場の作況調査（小麦：11月19日、大麦：11月25日播種）によると、今後気温が平年並で経過した場合、出穂期は小麦で平年より1日早く、大麦は平年より1～3日遅く、シロガネコムギは4月10日頃、チクゴイズミは4月12日頃、ニシノチカラは4月7日頃アサカゴールドは4月13日頃と予想されている。

ウ 防除薬剤は「平成17年度普通作物病害虫・雑草防除の手引き」を参照する。

エ 降雨の合間に薬剤防除を行う場合、液剤は散布後一旦乾けば降雨があっても薬剤の効果はある。しかし、粉剤の場合は、散布後6時間以内に降雨があった場合は、薬剤の効果が落ちるのでかけ直し防除を行う。

【果 樹】

作物名	病虫害名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
カンキツ	そうか病 ミカンハダニ	並 少ない	並 少ない
ナシ	黒星病	-	やや少ない
ブドウ	黒とう病	-	やや少ない
カキ	フジコナカイガラムシ	-	やや多い

【果 樹】

1 カンキツそうか病

(1) 予報の内容

発生量：平年並、前年よりやや多い

(2) 予報の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、旧葉の発病葉率は0.5%（平年：0.6%、前年：0.1%）であった。

イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発芽直後～展葉期の薬剤防除を徹底し、初期発病を抑える。

イ 罹病葉は伝染源になるので除去する。

ウ 防除薬剤は「平成17年度果樹病虫害・雑草防除の手引き」を参照する（以下の病虫害についても同様）。

2 カンキツのミカンハダニ

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年より少ない

(2) 予報の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、寄生葉率は1.0%（平年：5.1%、前年：18.6%）であった。

イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 防除に当たっては、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布する。

イ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3 ナシ黒星病

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年よりやや少ない

(2) 予報の根拠

ア 前年の8月2半旬調査の結果、発病葉率は0.1%（平年：0.6

％、前年：0.4％）、発生ほ場率は20.0％（平年：28.3％、前年：25.0％）で、越冬菌量は平年よりやや少ないと予想される
 イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

4 ブドウの黒とう病

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年よりやや少ない

(2) 予報の根拠

ア 前年の8月5半旬調査の結果、発病葉率は0.7％（平年：4.8％、前年：2.4％）、発生ほ場率は35.7％（平年：51.5％、前年：46.2％）で、越冬菌量は平年よりやや少ないと予想される。

イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 頂芽の展葉2～3枚期の薬剤防除を徹底し、初期発病を抑える。

イ 罹病枝や前年取り残した巻きひげは除去する。

4 カキのフジコナカイガラムシ

(1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多く、前年並

(2) 予報の根拠

ア 前年の収穫期の寄生果率は、23.1％（平年：13.4％、前年：25.4％）で、越冬量は平年より多いと予想される。

イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

越冬幼虫が新梢に移動する4月下旬～5月上旬に薬剤防除を徹底する。

【茶】

作物名	病害虫名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
茶	カンザワハダニ	やや多い	やや多い

【茶】

1 カンザワハダニ

(1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多く、前年並

(2) 予報の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、寄生葉率は3.5％（平年：2.3％、前年：3.5％）で、50葉当たり寄生虫数は平均4.5頭（平年：3.2頭、前年：4.2頭）であった。また、発生ほ場率は69.2％（前年：53.8％）であった。

イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発生状況をよく観察し、発生が多い茶園は、農薬使用基準を遵守し防除を行う。

イ 霜害発生後は、多発しやすいので早めの防除を行う。

ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

【野菜】

作物名	病害虫名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
イチゴ	うどんこ病 灰色かび病	やや少ない 並	やや少ない 並
冬春ナス	すすかび病 うどんこ病 灰色かび病	やや少ない 並 並	やや少ない 並 並
冬春トマト	灰色かび病 葉かび病	やや多い 並	やや多い 並
冬春キュウリ	べと病 うどんこ病 褐斑病	並 並 多い	やや少ない 並 多い
野菜共通	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	少ない -	少ない -

【野菜】

1 トマトの灰色かび病

(1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多く、前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、発病果率は1.2%（平年：0.7%、前年：0.1%）であった。

イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 하우스内の換気を行い、多湿にならないよう管理する。

イ 病勢が進展すると防除が困難となるので、発病前または発病初期の防除を徹底する。

ウ 発病葉、発病果を除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

オ 薬剤防除は、使用基準を守り、危被害防止に努める。（以下の病害虫についても同様）

2 キュウリの褐斑病

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年より多い

(2) 予想の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、発病葉率は8.0%（平年：2.5%、前年：13.6%）であった。

イ 4月の気象予報では平均気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 하우스内の換気を行い、多湿にならないよう管理する。

イ 草勢が低下すると発病が助長されるので、適正な肥培管理を行う。

ウ 病勢が進展すると防除が困難となるので、発病初期の防除を徹底する

エ 発病葉はできるだけ除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

オ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3 野菜共通のコナジラミ類

(1) 予報の内容

発生量：-

(2) 予想の根拠

3月5半旬調査の結果、トマトの寄生葉率は3.2%（平年：7.7%、前年：0.7%）、ナスの寄生葉率は9.5%、発生ほ場率は100%であった（平年値、前年値のデータなし）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 春先からシルバーリーフコナジラミが増え、果実が汚れる被害が出るので注意する。

イ 特にトマトでは、次年度の黄化葉巻病対策の一環として防除を徹底する。

ウ 多発生後は防除が困難となるので、早期発見、早期防除を徹底する。

エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

4月の気象予報（1か月）

（予報期間4月2日～5月1日）

2005年4月1日
福岡管区気象台発表

【概要】

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並の可能性が大きいでしょう。

九州北部地方では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れる日が多いでしょう。

【要素別確率】

（単位％）

要素	低い （少ない）	平年並	高い （多い）
気温	20	50	30
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

- < 1週目の予報 > 4月2日～4月8日
この期間の平均気温は、平年並か高い可能性が大きいでしょう。
- < 2週目の予報 > 4月9日～4月15日
この期間の平均気温は、平年並の可能性が大きいでしょう。
- < 3～4週目の予報 > 4月16日～4月29日
この期間の平均気温は、平年並の可能性が大きいでしょう。

参考資料

福岡における平年値

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温

向こう1か月			平均気温（ ）		
平均気温（ ）	降水量(mm)	日照時間(h)	1週目	2週目	3-4週目
15.0	122.3	174.7	13.0	14.2	16.0

病虫害防除所では、病虫害の発生状況と防除について、ホームページでお知らせしています。アドレス及び番号は下記の通りです。

ホームページアドレス
電子メールアドレス

<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka>
kfok0301@sp.jppn.ne.jp